

『銀河鉄道への旅』

堀井 正子 先生

12月3日開催の教養セミナーは、本年度文学セミナーでも取り上げた宮澤賢治の作品について「SBCラジオ武田徹のつれづれ散歩道」でおなじみの堀井正子先生にご講演をいただきました。



先生は、賢治と最愛の妹としとの関係を「永訣の朝」「松の針」「無声慟哭」三編の詩を紹介しながら解説されました。賢治の家は浄土宗の系統

の家でありましたが、賢治自身は、法華経(日蓮宗)の世界こそが本当の仏教の世界であると考え、父親に改宗を求めていました。当然先祖代々の宗派を改めることは認められず、賢治は家族の中で孤立した存在となります。しかし、家族の中でたった一人、妹のとしだけが賢治の理解者でありました。賢治にとってとしは、家族不和で家を出ている最中でも、としの病状悪化の報を知るや否や故郷花巻に帰郷するほど特別な存在であったということですね。

賢治は、最愛のとしの亡くなった大正11年11月27日には「永訣の朝」「松の針」「無声慟哭」の三編の詩を書いていきます。(賢治は自分の詩を「詩」と呼ばず、自分の心の中の動きをスケッチした「心象スケッチ」と呼び、感動や

激しい心の動きをその場で文字にしていたものと言っています)その三編の内、「無声慟哭」の中で、愛する妹を亡くして深い悲しみに打ちひしがれた感情と、法華経の宗教者としての信仰の力を信じようとする心の葛藤に悩む自分を表現しています。

賢治は、本当に良く詩を書いた人でしたが、としの死後、大正12年6月3日まで一遍も書きませんでした。賢治のとしへの想い、亡くなったことへの深い悲しみは、書かなかった7カ月の時間が物語っていると思います。

大正12年8月1日に賢治は、青森から樺太まで教子の職を探すため旅をしています。その列車での旅の中のイメージをモチーフに書かれた「青森挽歌」という長編の詩を紹介し、この詩が「銀河鉄道の夜」を

書くのきつかけになり、下敷きになったと話されました。最後に先生は、この「銀河鉄道の夜」が現代のクリエーター達に影響を与え、銀河を巡る小説やアニメーションを生み出すヒントを与えることになったと話さ

れました。当日は、時期はずれの大雪に見舞われた中ではありましたが、多くの受講者に参加頂き、「宮澤賢治の読み方、理解の仕方がわかった」等のご意見をいただきました。

人権意識の向上を願って

瑞穂推進委員 荻原郁朗

T地区はかつて井戸水が潤って深刻な問題となつた。そこで、水の豊富な上の地区の良質な水源よりT地区まで水を引き、各家庭に行き渡るように考えた。今まで同和地区と葬儀の時など、一緒にすることはなかった地区であったが、水の問題ではどうしても心を一つにすることが必要となり、同和地区対策特別措置法の力を借りて、皆で労力を出し合い、同和地区の人達と協力して共同井戸を作ることに成功した。以後、同和問題に対する理解も次第に深まり、解放子ども会には、T地区の小学生全員が参加して同和教育を学んだ。子どもの意識が変わり、大人も変わり、葬式のお参りに参加したり、夜のお念仏に全員で参加することが当たり前になりました。今人権ということで、広い視点から学習するようになってきた。しかし、今まで培ってきた同和教育を忘れてはならないと思う。まだまだ差別は残っている限り、同和教育を根底に据えていくことが大切だと思う。

はつらつ!! 健康教室

寒い冬、家の中で縮こまった体や雪かたづけで疲れた体をリフレッシュしましょう。(5回講座)

ヨガでリラックス

講師 井出ふみ子 先生
第1回 2月10日(金)
第2回 2月17日(金)

ノルディックウォーキング

講師 服部正秋 先生
(フィンランドノルディックウォーキング公認資格者)
第3回 2月28日(火)
第4回 3月7日(火)(野外)
第5回 3月14日(火)(野外)

ノルディックウォーキングは、フィンランド発祥のニュースポーツです。ポール(杖)を使用することによって、間接や肩への負担を軽減し、首や肩にかけての痛みやこりを解消する効果があり、通常のウォーキングに比べ、46%もエネルギー消費量が上昇したとの研究データもあります。現在ドイツ、オーストラリアで急速に普及し、アメリカではブームとなっています。

- 時間 午後2時～3時30分
- 会場 飯山市公民館 講堂
- 定員 30名
- 参加料 300円(ポールレンタル代)
- 申込お問い合わせは飯山市公民館(Tel.62-3342)へ(定員となり次第締め切りとさせていただきます)

飯山雪国大学文化講演会

現代の子どもや若者の心に何がおこっているか

講師 精神科医 帝塚山学院大学教授 香山リカ 先生



【講師プロフィール】1960年7月1日北海道札幌市生まれ。東京医科大学卒業。学生時代より雑誌などに寄稿。その後も臨床経験を生かして社会批評、文化批評、書評などを手掛け、現代人の「心の病」について洞察を続けている。専門は精神病理学だが、テレビゲームなどのサデカルチャーにも関心を持つ。新聞・雑誌などへの連載多数

【主な著書】働く女の胸のウチ、「いまどきの『常識』」「<いい子>じやなきやいけないの」「<私>の愛国心」「就職がこわい」「『心とおなか』の相談室」「サヨナラ、あきらめられない症候群」「ぶちナショナリズム症候群」「若者の法則」「『好き』の精神分析」「えんじえる」「心の深呼吸ができる本」「死の臨床格闘学」「多重化するリアル～心と社会の解離論～」」「本当はこわいフツウの人たち」「本当にやりたいこと！を見つめる33の方法」「I miss me. ～新しい自分を見つける42章～」」「『このころの時代』解体新書」「ウェディング・マニアダイアナなあなたの心の落とし穴」「<じぶん>を愛するということ一私探しと自己愛～」など多数。

日時 3月5日(日) 午後2時～3時30分
会場 飯山市公民館

入場無料です。大勢の皆様のお越しをお待ちしております。

第26回飯山市民芸術祭 参加者募集

第26回市民芸術祭を下記の日程で開催いたします。日頃の研鑽の成果を披露する絶好の機会です。大勢の皆様のご参加をお待ちしております。

- 開催期日及び会場
・展示発表 4月15日(土)、16日(日) 会場：飯山市公民館・飯山市美術館
・舞台部門 4月23日(日) 会場：飯山市民会館
- 申込期限 2月28日(火)
- 申込先 飯山市民会館
- 問合せ先 飯山市民会館 (市民芸術祭事務局 Tel.62-3341)

『就業支援-ITパソコン入』

NPO法人ドリームエオンではWord,Excelの実務で役立つ基本的な操作を習得する講座を開設いたします。就職や仕事に役立てたい方ふるってお申し込み下さい。(6回講座)

- 日程 2月18日、19日、25日、26日 3月4日、5日(各土曜日、日曜日)
- 時間 9:30～15:30(休憩1時間)
- 参加料 有料(お問い合わせ下さい)
- 場所 飯山市公民館
- 申込締切 2月8日(水)
- 定員 15名(6名以上で開催)
- お問合せ・お申込先 NPO法人ドリームエオン 0269-62-2113(高橋) 後援 飯山市公民館